

文献 3

Zhang BM, Zhong LW, Xu SW, Jiang HR, Shen J. Acupuncture for chronic Achilles tendnopathy: a randomized controlled study. Chinese journal of integrative medicine. 2013; 19(12): 900-4. MEDLINE®; 1946 to date (1946 - current) Web ID: 23263998

1. 目的

鍼治療がアキレス腱障害を改善させるかどうかを調べること。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

Shanghai Jiao Tong University (上海交通大学)

4. 参加者

18～70 歳でアキレス腱障害が少なくとも 2 ヶ月以上続いている者 64 名

5. 介入

鍼治療群とエキセントリックエクササイズ群(対照群)に分け、治療群は痛みの場所 20mm 付近に 4 本の鍼を 15° の角度で刺入し 30 分間置鍼した。治療は週に 3 回、8 週間で 24 回行った。

6. 主なアウトカム評価項目

主な評価項目は 8 週間地点の Victorian Institute of Sports Assessment-Achilles (VISA-A, 100 点)、運動後の痛み、安静時の VAS とした。第 2 の評価項目は 16、24 週間地点での VASA-A (100 points)、治療満足度、鎮痛剤の使用、活動状態とした。治療満足度は満足か満足でないかで評価した。

7. 主な結果

8 週間後の平均 VASA-A 値は鍼治療群で 67.1 点、対照群は 48.5 点となり、鍼治療群で 18.6 点増加し有意に改善した。鍼治療群の VASA-A 値は基準値から 16 週間後に 25.8、24 週間後に 28.4 へと有意に増加する結果となった。VAS に関しては対照群の 8 週間後において活動後に 2.0cm、安静時で 1.5cm へと減少した。鍼治療群においては活動後に 3.7cm、安静時で 3.2cm へと対照群と比較し有意に減少した。

8. 結論

鍼治療はエキセントリックエクササイズと比較し、慢性アキレス腱障害に対して痛みと動作を改善することが可能である。

エキセントリックエクササイズはアキレス腱障害に効果的であると考えられているが、臨床的効果としては物議を醸している。8 週間後 VISA-A 値が 2.7 点増加した対照群の患者で臨床的な改善が見られたが、鍼治療群では 19.5 点増加する更なる改善が認められ、VISA-A 値は鍼治療群でより統計学的に有意であることがわかった。VAS の結果からも、我々はアキレス腱障害を有する患者に対して鍼治療を推奨することとする。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

VASA-A、VAS とともに主観的な指標であることから、客観的な、生理学的な指標も含めた検討であればより良いと考えられる。二重盲検法でのデザインは困難であるが、できる限りバイアスを排除する工夫も加えられると良いと考える。

11. Abstractor and date

吉田成仁 2016. 3. 26